



（仮称）印西市立東の原義務教育学校の 準備の状況について

印西市教育委員会

令和8年1月30日時点版

目次

ご報告の内容

はじめに

テーマ①：スケジュール（令和 7 年度から令和 8 年度）

テーマ②：通学区域

テーマ③：学校敷地内のゾーニング

テーマ④：開校準備委員会

（仮称）東の原義務教育学校：通学区域

東の原地区（一丁目から三丁目）を学区とします。また、牧の原駅圏の児童・生徒を、学校規模の範囲内で学区外就学により受入れます。



通学区域

- 東の原一丁目から三丁目が妥当と
通学区域審議会より答申
(令和7年6月27日付)



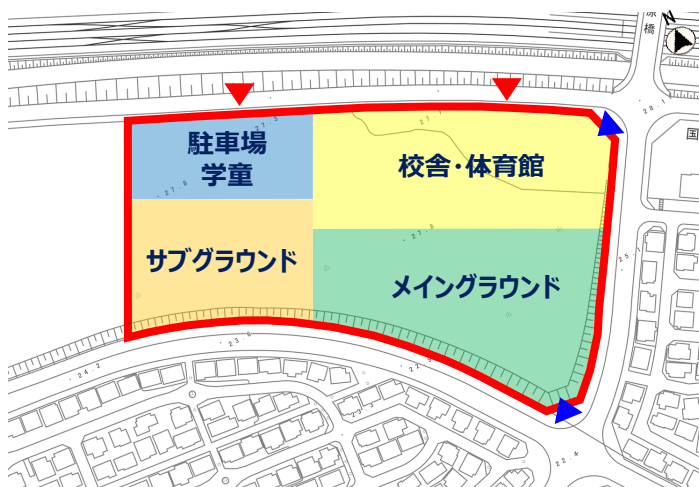
- 児童・生徒数が増加傾向にある印
西牧の原駅圏の児童・生徒は、学
区外就学により受入れ（通学区域
制度の弾力的運用）
ただし、義務教育学校の学校規模
の範囲内で児童・生徒の受入れ

(仮称) 東の原義務教育学校：学校敷地内のゾーニング（検討）

学校用地内（約34,000m²）のゾーニングを3パターン検討しました。

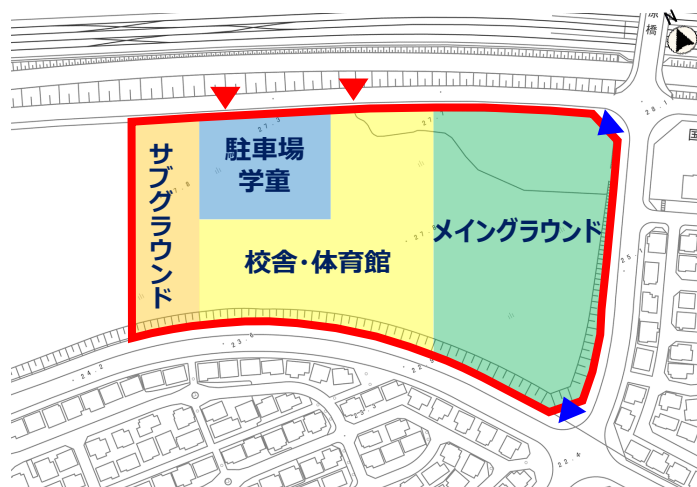
凡例 ▲ 歩行者出入口 ▲ 車両出入口

A 案



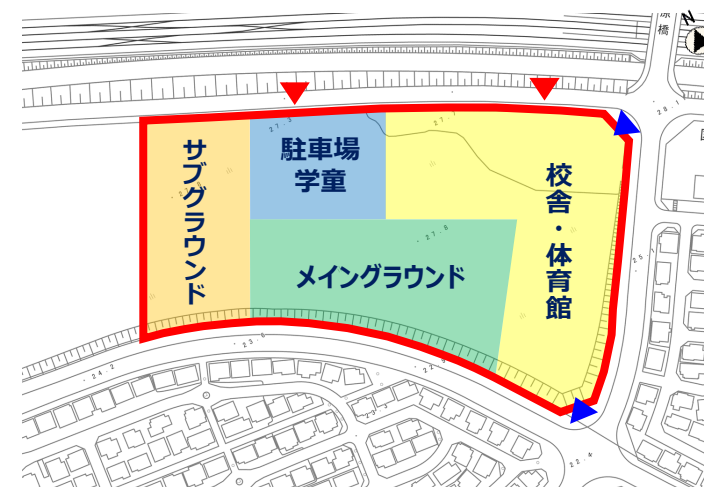
- 校舎、体育館を北側寄りに配置
- メイングラウンドで200mトラックを確保
- サブグラウンドを確保
- 東側の隅切り部に歩行者出入口を確保
- 北側に車両出入口を確保

B 案



- 校舎、体育館を西側寄りに配置
- メイングラウンドで200mトラックと余裕地を確保
- サブグラウンドを確保
- 東側の隅切り部に歩行者出入口を確保
- 北側に車両出入口を確保

C 案

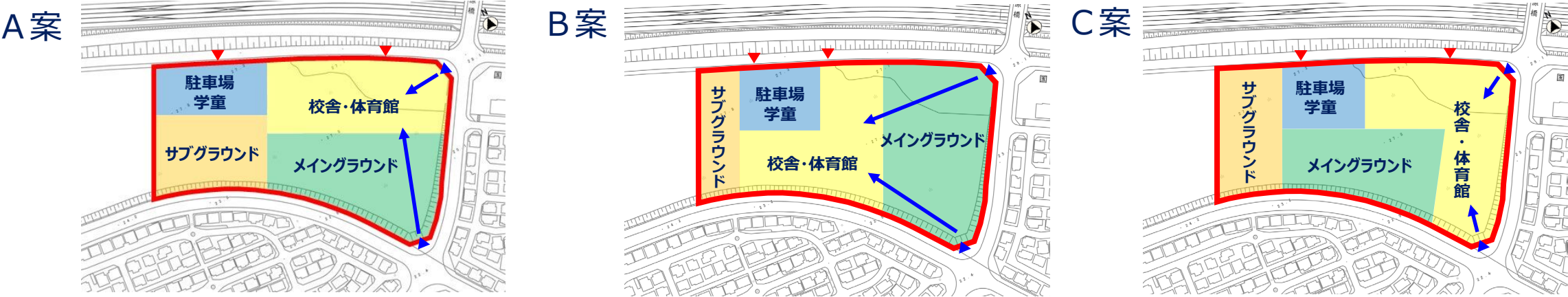


- 校舎、体育館を東側寄りに配置
- メイングラウンドで200mトラックを確保
- サブグラウンドを確保
- 東側の隅切り部に歩行者出入口を確保
- 北側に車両出入口を確保

(仮称) 東の原義務教育学校：学校敷地内のゾーニング（評価）

どの案が望ましいか、それぞれ評価を行い、「A案」が最も優位となりました。

凡例 ▲ 歩行者出入口 ▲ 車両出入口
← 歩行者動線



| ゾーニングの種類 | 個別評価項目 | | | | | 総合評価 | |
|----------|--------|------|----|-----|---|------|---|
| | アクセス | 学校環境 | 眺望 | 施工性 | | | |
| A 案 | △ | ○ | ○ | ○ | ▶ | ○ | <ul style="list-style-type: none">北側出入口から校舎までのアクセスは容易グラウンド面積を大きく確保東側住宅街からの視認性は影響が少ないインフラ引き込み距離が比較的短い |
| B 案 | × | × | △ | × | ▶ | × | <ul style="list-style-type: none">出入口から校舎までのアクセスが遠いグラウンドが校舎ゾーンにより分断建物配置によっては南側住宅街から視認されやすいインフラの引き込み距離が長い |
| C 案 | ○ | △ | × | ○ | ▶ | × | <ul style="list-style-type: none">出入口から校舎までのアクセスが容易メイングラウンドが小さい東側住宅地から視認されやすいインフラ引き込み距離が短い |

(仮称) 東の原義務教育学校：開校準備委員会（委員構成）

(仮称) 印西市立東の原義務教育学校開校準備委員会設置条例を制定し、附属機関として設置予定。

議会上程：令和8年第1回印西市議会定例会（予定）

任期：委嘱の日から令和11年3月31日まで

報酬：月額7,500円

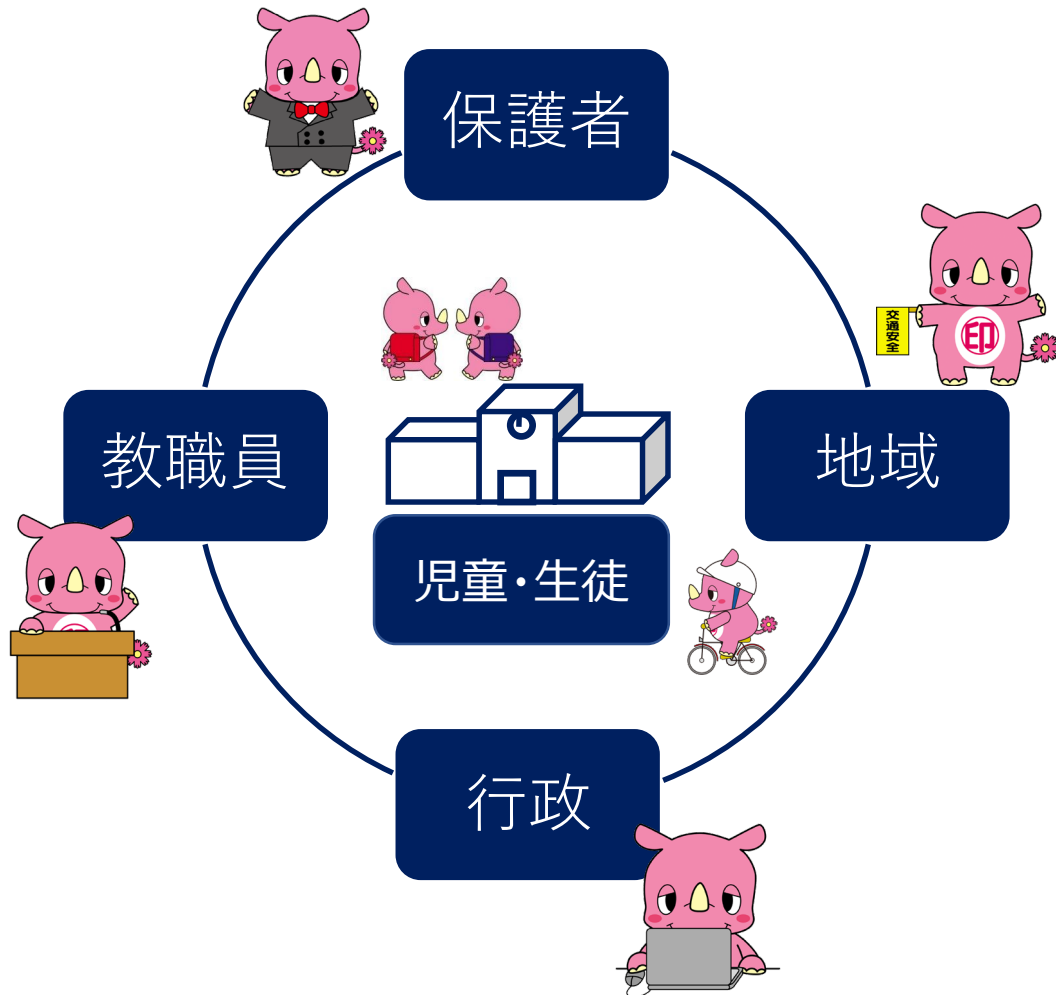
| 小学校 教職員代表 | 中学校 教職員代表 | 保護者代表 | 地域代表 | その他教育委員会が 必要と認める者 |
|--------------|----------------|-----------------|-----------------|---------------------------------------|
| 原小学校から 1名 | 西の原中学校から 1名 | 公募により選出 1名程度 | 公募により選出 1名程度 | 教育DX専門官 教育センター 校長会からの推薦 3名程度 |



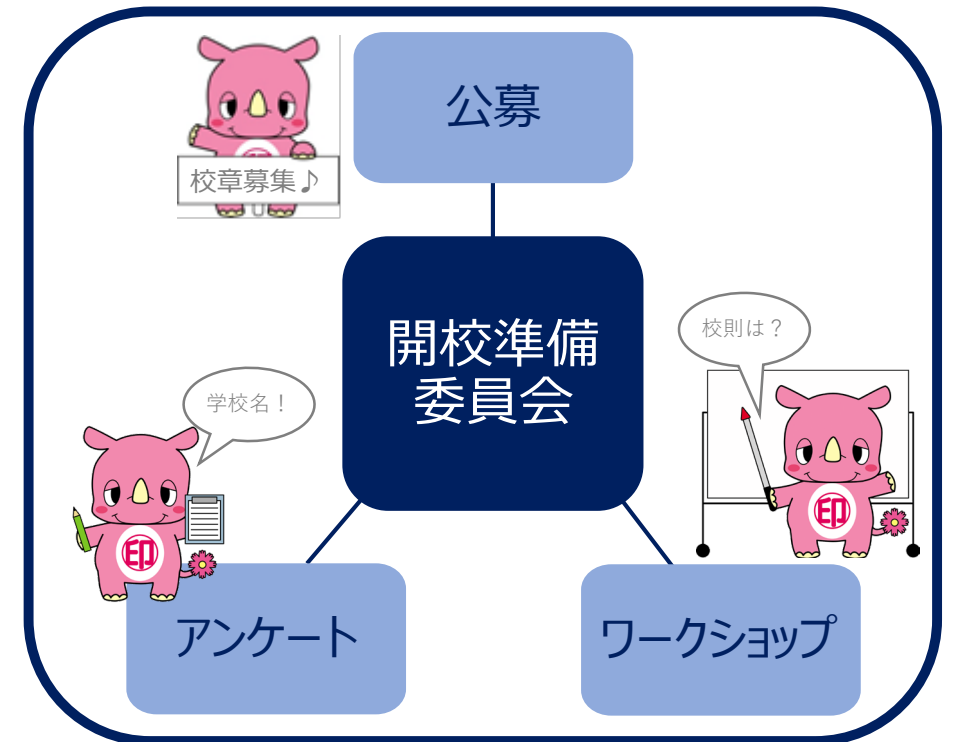
最大で10名

（仮称）東の原義務教育学校：開校準備委員会（イメージ）

新しい学校を作るために、保護者・児童生徒・地域・教職員の協力が不可欠です。「ともに創る」をコンセプトに、開校準備委員会で検討・整理し、新しい学校を作り上げていきます。なお、みんなが「こんな学校にしたい」という思いを集約する方法として、公募、アンケート、ワークショップといった手法を積極的に活用していきます。



意見集約の手法



（仮称）東の原義務教育学校：開校準備委員会（検討・整理すること）

新しい学校を作るにあたって、3つの柱を作りました。これらの柱のもと、みんなの思いを持ち寄り、新しい学校をともに創っていきたいと考えています。

1.「こんな学校にしたい！」（学校ビジョン編）

理想とする学校像を共有し、グランドデザインの基盤をつくります。

- ・主な項目：教育課程、保護者組織、学校備品や教材など

2.「学校の文化をつくろう！」（学校文化編）

学校の象徴となる学校名、校章などをつくります。

- ・主な項目：学校名、校章、校歌、学校行事など

3.「過ごしやすい学校をつくろう！」（学校生活編）

学校生活の快適さ・安全性・自由度を高めるための環境について考えます。

- ・主な項目：制服、通学路、学校のルールなど

ご視聴ありがとうございました

地域にとって、子どもたちは「宝」です。子どもたちの未来は、地域の未来そのものです。

そうした中で、真にひとりひとりの子どもたちに寄り添った学び場づくりに向けて、原小学校及び西の原中学校の分離新設（学校新設）が最善と考えました。

新しい学校の開校にあたっては、「ともに創る」をコンセプトとしていますので、保護者・地域の皆様のお知恵もお貸し頂けると幸いです。また、忌憚のないご意見もお聞かせください。

引き続き、状況に進展がありましたら、迅速に、保護者・地域の皆様にはご共有をさせていただきます。



ご意見・ご質問はこちら
(ちば電子申請サービス)

